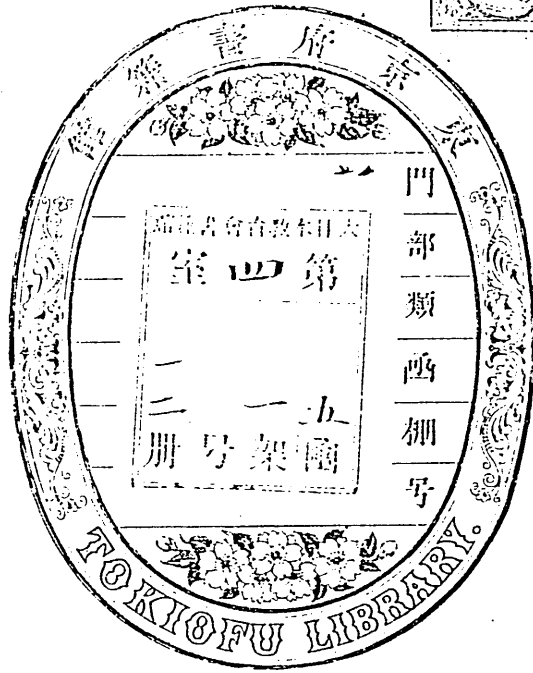


小學
算術

珠算例題

水野淵二郎編輯

八



明治二十年七月廿九日

水野淵二郎編輯

小學

必携

珠算例題

名古屋 東鐸堂藏版

小學必携珠算例題卷八

差分

(1) 物數七百六十個あり甲乙丙三人に分るに甲より乙より三十個少く又甲より丙より五十個少く各如何

答

(2) 同八百八十個あり甲乙丙三人に分つとき甲より乙より七十個多く甲より丙より百廿個少く各如何

答

(3) 金九百圓甲乙丙三人に分るに甲より乙より九十圓少く乙

珠算例題卷八

明治二十二年七月廿九日

水野淵二郎編輯

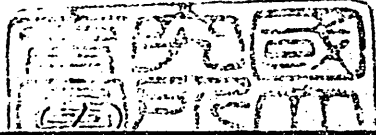
小學

必携

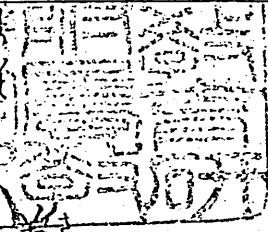
珠算例題

名古屋

東壁堂藏版



小學必携珠算例題卷八



差分

物數七百六十個あり甲乙丙三人に分るに甲より乙より三十個少く又甲より丙より五十個少く各如何

答

同八百八十個あり甲乙丙三人に分るとき甲より乙より七十個多く甲より丙より百廿個少く各如何

答

金九百圓甲乙丙三人に分るに甲より乙より九十圓少く乙

珠算例題卷八

一

より丙々六十圓少一各如何

答

金七百五十圓甲乙丙三人に分つに甲より乙々百廿圓少く乙より丙々三十圓多一各如何

答

金六百九十圓甲乙丙三人に分つに甲より乙々百廿圓少く乙より丙々百五十圓多一各如何

答

金八百圓甲乙丙三人に分つとき甲より乙々五十圓少く甲より丙々半分にして各如何

答

金七百圓甲乙丙三人に分つとき甲より乙々倍増甲より

丙々百廿圓少一各如何

答

金千二百圓五人に分るに甲より以下次第廿圓衰にして各如何

答

金千五百圓六人に分つに甲より以下三十圓上りにして銘々の所得如何

答

金八百四十圓甲乙丙三人に分つ甲より乙々半分乙より丙々又半分にして各如何

答

金八百圓甲乙丙三人に分つに甲より乙々倍増乙より丙

(11) (10) (9) (8) (7) (6) (5) (4)

珠玉列題

二

と百五十圓少一各如何

答

兄弟五人年數合て百十六より第一より第二より七ツ劣二より三より六ツ劣三より四より四ツ劣四より五より五ツ下一各年數を問

答

甲乙の賈人商賣を為に甲より五百圓乙より七百圓を出金せり而して若干月の後利せりこや九十六圓をり因て元金に應て分與せり其配分方如何

答

物數三百廿二個より是を四分せりに其假令三と四と七と九の如く各所得如何

(15)

物數一千個より之を五分せりに其假令三個七個四個八個廿三個の如く各所得如何

答

甲乙丙丁四人にて金六百圓を分つに甲より總數三分の一を取しより四分の一丙より五分の一丁より六分の一を取其餘を其割を以て分ち取とり各所得如何

答

五人の職人よりて一事を為に其價二百五十圓を得り而して第一職人より十六日第二より十四日第三より十日第四より十八日第五より十七日半勉業せり今各勉より日數に應て賃銀を得るに各所得如何

(17)

(16)

(14)

(13)

(12)

(18)

東西兩村の用水ゆり其堀中四尺なり東村も高三千五百石西村も高千五百石此兩村の高に應じて分水は東西堀中如何

答

糧米七百六十石三艘の船にて運ぶ其割第一十分運其次七分運又其次二分運ふ各所積何程なりや

答

二人の牧子ゆり草を買ふこぞ金六十圓なり甲も百二十疋六ヶ月の食料と乙も百八十疋四ヶ月食料と為らば云各出金幾何

答

(21)

甲乙丙三人の商夫ゆり乙最初に四百圓を出し甲も二ヶ月の後五百圓を出し丙も三ヶ月の後八百圓を出し然るに六ヶ月にて三百四十圓の利を得たりとゆふ各配分方如何

答

或人死に臨み金五百圓を召仕に配分せらるるに勤年數と給金の高に應じて為らば甲も六ヶ年毎年給金十五圓乙も十ヶ年毎年十二圓丙も四ヶ年毎年給金十圓なりとゆふ各如何

答

甲乙丙三人合カして商を為らば各元金二と三と四の如し然るに甲五ヶ月乙三ヶ月丙一ヶ月にて百八十四圓を

(22)

(23)

得たり各如何

答

二人にて八百圓を配分し各商を為しに甲六ヶ月に金五十圓を得しち四ヶ月に四十圓の利を得たりとり各元金を問

答

二枚の羅紗あり甲ち中二間半長四間八分乙ち中二間長五間半ちり此價總計廿三圓四十六錢ちり各價幾何ちりや

答

金五十圓を五人に分つに一より二ち六圓劣二より三ち四圓衰三より四ち二圓多く四より五ち三圓少く各所得如何

答

若干金を七人に分つに第一ち四圓三十錢第七ち一圓三十錢而して第一より七迄段々同差にして惣金及逋金を問

答

金三十六圓を三人に分つに甲乙丙同差丙ち甲の半分にして各所得如何

答

金四百五十圓甲乙丙三人に分つに各同差丙の所得ち惣金高の四分の一ちり因て銘々の所得如何

答

二千五百廿圓甲乙丙三人に分つに乙ち甲の三分の一丙ち乙の五分の一にして銘々の所得如何

(30)

(29)

(28)

(27)

(26)

(25)

(24)

(31)

金二千九百廿八圓を三人に分つに甲より乙を内二割分
乙より丙を又内二割分各所得如何

答

(32)

金千九百九十八圓八十錢三人に分つに第一より第二を
半分第二より第三を二割分各所得如何

答

(33)

金千六百五十圓甲乙丙丁四人に分つに甲の取分の四分
の一を丁の所得と各差等しくして各如何

答

(34)

金五百十圓を三人に分つに丙の所得百五十圓と定め甲
乙兩人同差にして各如何

(35)

兄弟五人年數併て九十歳をり惣領を末子の二倍をり年
段々同差にして銘々の年數を問

答

(36)

竹六節りり本三節に米三升六合入末三節に二升二合五
夕入節毎に米の入同差にして各節毎の入を問

答

(37)

金一萬四千八百九十六圓を六人に分與せしに其割合次
第五と三の如く各所得如何

答

(38)

五人の工夫りり甲を九日乙を一日丙を二日丁を三日戊
を十日にして此貸銀併て五百六十三圓を得たり但各一

人の賃金も甲より次第一割衰なりと云各所得如何

答

千百六十圓を甲乙丙丁戊五人に分つに次第七と三の如くに分與に各所得如何

答

賈入りり商賣にわめて毎年元金の三分の一を失ひ四年の後に至て殘金九十六圓に至ると云最初商賣に懸り一原金を問

答

七人にて商社を結び若干の利を得たり因て之を分つに最少の人廿五圓を得たり其他段々其所得の半分宛多く取と云然らハ最多の人所得ハ幾許なりや

(42)

或人絹を織るに日々倍増に織と云而して四日目に至て總尺六丈七尺五寸を織たりと云然らハ毎日何尺を織り得るや

答

或人若干の金を以て商を為しに年々其元金の倍増に至る而して三年の後千四百圓を得たりと云其本金を問

答

金二百四十七圓五十錢三人に分配はるに其法甲と乙とと十一と九の如し乙と丙とと六と五の如し各幾許なりや

答

金百七十圓の金を三人に分與はるに甲と乙の三倍乙と

丙の四倍ちり各如何

答

茶四十五介り三人に配分せむに乙ち甲の五分の一丙ち乙の七分の一を得各如何

答

布廿八丈七尺を三人に分配せむに甲の所得四分の一乙の所得三分の一に當り又乙の所得五分の一丙の所得二分の一に當ると云各幾許ちりや

答

酒九升九合ちり三人にて飲盡し但甲の二倍ち乙の三倍に當り乙の四倍ち丙の五倍に當ると云各如何

答

(48)

米百石三斗五升を三分らるに甲の十一倍ち乙の十三倍に同一乙の七分の一丙の五分の一と同一各幾何

答

二萬二千四十八個を四分せむに甲と乙とち十三と十一との如し乙と丙とち九と七の如し丙と丁とち五と三の如し各如何

答

(47)

千百三十二個を五分せむに甲ち乙の二倍に當り乙の三分の一丙の二分の一に同一丁ち丙の三割衰り丁と戊ち四と五の如しと云各幾何

答

(52)

六萬五千二百四十圓を三人に分つに乙ち甲の所得五分

の二を取丙々乙の所得八分の七を取と云各所得如何

答

金三百十五圓四人に分つに乙甲の二分の一多丙甲乙の和に其三分の一多丁甲乙丙の和に其四分の一多一各所得如何

答

人あり八百六十四坪の地を三子に分つに長子次子末子の和を取り次子と末子と十一と五の如くと云各如何

答

金千五百廿圓を三分するに乙甲より百圓多丙乙より二百七十圓多取と云各幾何

答

布百廿反を三人に分配するに乙甲の三分の一多く丙乙の四分の一多一各如何

答

金四百五十圓を三人に分つに乙甲の四分の三を取丙甲乙の和七分の二を取と云各如何

答

目方一貫目のものを三人に分配は甲々乙の二分の一多乙丙の三分の一多一各如何

答

若干金を八人に分與するに第一第二第三の所得併て四十五圓第七第八二人の所得併て八十五圓より其他同差にして各所得如何

(59)

(58)

(57)

(56)

(55)

(54)

(53)

答

(60) 甲乙丙丁四人に金六千八百廿圓を分つに甲より次第逐次十と八との比例を以ていと云各分前如何

答

(61) 開拓地あり其納り高年々倍増にして既に四年の終に至りて一萬五千二百五十石を得ると云年々の取高如何

答

(62) 金千二百六十圓を甲乙丙三人に分つに甲の所得七分の四を以て乙の所得とん又乙の所得五分の二を以て丙の所得とん各如何

答

(63) 一萬三千二百個の數を甲乙丙丁四人に分つに甲としと

ろ二と三の如し乙と丙とろ四と七の如し丙と丁とろ五と八の如し各所得如何

答

(67) 二萬五千五百圓を甲乙丙丁戊五人に分與らるに甲としとろ三と二の如し乙と丙とろ三と四の如し丙と丁とろ六と七の如し丁と戊とろ四と五の如しと云各所得如何

答

(65) 金一萬二千圓を甲乙丙三人に分つに甲の三倍と乙の二倍に當り乙の五倍と丙の七倍に齊しと云各所得如何

答

(66) 金一萬二千四百八十圓甲乙丙三人に分つに乙ろ甲の五倍丙ろ乙の四倍なり各如何

答

金二萬四千三十圓甲乙丙三人に分つにしち甲の二倍丙
ち甲乙和の二倍各如何

答

米千五百石を三艘の船おて運輸に第一より第二を
二割劣第三より第三を三百廿石少各如何

答

米一萬五千八百九十二石三人に分つに甲ち乙の二倍し
ち丙の三倍ちり各如何

答

金十三萬〇四百八十圓甲乙丙三人に分つしち甲の五分
の二丙ち乙の八分の七を取と云各如何

答

金四萬二千百八十圓を四人に分つに甲ち其三分の一乙
ち四分の二丙ち五分の二丁ち六分の一の比例を以て分
ち取と云各如何

答

粮米若干りり月々其十分の二宛費一三ヶ月の後残米二
百四十八石りり原粮米幾許ちりや又一人五合宛とせれ
ち幾人分の減少ちりや

答

甲乙丙三人或商をちり甲ち十ヶ月に四百五十六圓の利
益を得乙ハ八ヶ月に三百四十三圓廿錢の利を得丙ち十二
ヶ月七百五十圓の利を得たり本金計ち一萬四千三百

(73)

(72)

(71)

(67)

(68)

(69)

(70)

四十五圓よりと云各財本幾何なりや

答

五十圓の金を五人に分配するに甲より乙は六圓劣乙より丙は四圓劣丙より丁は二圓多く丁より戊は三圓劣各分前如何

答

金若干七人に分配せらるに第一所分四圓三十錢第七は一圓三十錢より逐而一より七逆段の同差にして惣金及び逆差如何

答

金廿一圓を七人に分配せらるに逐次六圓下りにして第一第七の得分如何

(74)

(75)

(76)

(77)

(78)

(79)

(80)

答

或入金三百六十圓の借財十二ヶ月に償還せらるに月々二圓宛増して返はとりふ然らハ第一月も幾圓償ふや

答

脚夫百廿八里の行路毎日二里宛増して歩はるハ八日にたわて達したりと云初日ハ幾里を歩せや

答

賣雞六百六十隻より毎日六隻宛増して十四日にたわて賣盡したりと云初日幾隻を賣初めや

答

或人行路初日三里行毎日逐次五里を増末日に至て五十八里を行某所は着たりと云幾日の行程なりや

(81)

人数百員に賞金を為に第一賞金百圓逐次五錢宛方り
にて賞與に第百人目と幾何の所得を問

答

(82)

甲乙丙丁四人に若干金を分つに逐次同差にして甲の得
分六十九圓丁の得分五十一圓をり乙丙の得分を問

答

(83)

八人に若干石數を分つに第一第二兩人得分併て十一石
九斗第七第八兩人併て八石三斗をり逐次同差にして中
四人の取分を問

答

(84)

兵卒二萬三千八百名甲乙丙丁戊の五將逐次同差に領之

(85)

只云戊將の領いり所三千三百六十名をり各將所領如何
有米百八十石甲乙丙三人に分つに甲最多逐次同差に
て丙三十六石をり甲乙各所得如何

答

(86)

東西南北中五ヶ村より貢納米總計八百八十石をり東村
より最少逐次同差にして中村二百石をり東村の納米如何

答

(87)

一十九人逐次等差を以て出金をり總計二千七百七十
四圓をり只云第一最少第十九人目百廿六圓をり每人の
等差及第一第十人目の出金を問

答

(88)

金百圓を以て縮紬百反を買紬一反の價金一圓六十錢をり縮紬各幾反を買得るや

答

(89)

若干書生に一萬五千四百廿八冊を分ち與ふ二人に究理書一冊五人に地理書三冊七人に歴史六冊三人に算術書二冊を與ふと云総人員幾許なりや

答

(90)

上下米合て廿一石一斗五升り此代金百三十圓をり上米下米各何石なりや

答

(91)

大小月數併て九ヶ月わり日數併て二百七十五日わり大の月幾許なりや

但大の月三十一日 小の月三十日

(92)

上下の酒を混和して一升の價十二錢八厘に賣んとん上下幾許宛交へて可なりや

但上酒一升十五錢一厘二毛 下酒一升十錢なり

答

(93)

藏中に米大豆併て千五百五十俵り此石數合て七百七十七石二斗六升なり但米一俵五斗五升入大豆一俵四斗三升入各俵數及石數を問

答

(94)

皮籠に縮と紬と併て六十端入り但縮々二反繼き紬も一反宛たり然るに皮籠より拋出を聞に四十七度にて皆盡きたり銘々何程宛たりや

(95)

同等の價を以て上下の酒を買ふに上酒より下酒を一斗二升多しと云上下の酒各幾何 但上酒一升十二錢 下酒一升八錢

答

(96)

上米下米併て四十二石四斗五升六合を買ふ上代金より下代金半分より上下米及代價各如何

但上米一圓は一斗六升換 下米一圓は一斗六升八合換

答

(97)

米麥豆併て四十七石三斗を以て馬に給せらるに其與へ方九馬に米七斗四馬に麥五斗五馬に豆三斗を給いと云馬總數若干匹もや

答

(98)

金四百五十圓にて米麥を買ふとき米より麥を廿三石五斗少く買んとし各石數を問ふ 但圓に米一斗八升 麥二斗八升

答

(99)

上米下米石數併て十石。四斗九升三合より上米代金廿八圓六錢二厘五毛下米代金三十三圓三十五錢より但圓の相場上米より下米々二升安し各石數何程と問

答

(100)

金銅鑄合の一塊より長一尺五寸中八寸厚三寸にて此目方三十貫目より金銅幾許の混合物もや 但長三寸 厚一寸にて 金二百六十二匁五分 銅百十二匁五分

答

盈胸

(1)

若干の金を以て或買物を為に一個に付四錢五厘づつ
して買へる五錢不足は又四錢宛として買へる十錢余ると
云買物數及金高如何

答

(2)

人集りて金を分る一人に金三圓五十錢宛分きて三圓
余り又一人に四圓五十錢宛分て九圓不足はと云金高及
人數を問

答

(3)

一人に金五圓五十錢宛分て六圓余り又一人に五圓七十
五錢宛分て余も不足もなきと云各如何

(4)

麻布若干あり一人に八反宛分きて五反余り六反宛分きて
十三反余ると云人數并布數を問

答

(5)

賞典金一人に三圓宛分て七十七圓五十錢不足又二圓七
十五錢宛分て三十八圓七十五錢不足はと云人數并
金高如何

答

(6)

生徒に賞として筆を與ふるに一人に三本宛分て四百
七十本余り又五本宛與ふれも余りも不足も無くと云生
徒人員并筆數を求む

答

(7)

又賞として若干の墨を與ふ一人に三挺宛とせし適等五挺宛與ふまは四百七十挺不足いと云此生徒人員及墨數幾許たりや

答

將士一名に兵卒廿八員宛とせし五十四人不足又將士一名に兵卒廿五人とせし適等たり將士兵卒各幾名たりや

答

糧米若干あり一人に八升五合宛與ふまは廿石不足又七升八合宛分まは六石不足いと云人數并石高を問

答

童子一人に花五本宛與ふまは三人取分不足いと一人に花四本宛與ふまは余も不足もたりと云童子及花數如何

(77)

金銀扇若干あり銀扇を金扇の二倍數あり一人に金扇五本宛分まは二本余る又一一人に銀扇十一本宛分まは廿一本不足いと云人數并金銀の扇幾許たりや

答

金銀扇若干あり銀扇を金扇の三倍あり一人に金扇五本宛分ても四本余る又一一人に銀扇十三本宛分ても六十二本余ると云金銀扇及人員幾許たりや

答

書籍若干あり三人に二冊とせし五冊余る又五人に四冊とせし一冊不足いと云人數并書籍幾許たりや

答

(17)

揚弓店に人集りて每人矢數六本宛放ても十二本余り又
每人八本宛發られぬ四本不足いと云人數及矢數幾許

答

(15)

乗合船りり船賃を拂ふに一入に賃錢十二錢づつ出せし
四錢不足いと又一入に十三錢宛出せし四錢余る入數及
金高如何

答

(16)

酒店に往て金若干を出し酒を買ふに一升十二錢宛の酒
を買ふ三十錢余る又十五錢宛の酒を買ふ適等なり金高
及酒石數を問

答

(17)

蜜柑若干有之を籠詰小き籠に一籠に百五十個宛入ま
す

(18)

百個余り又同一籠數にて百六十個宛入とせし七百六十個不
足いと云蜜柑數及籠數を問

答

大麥小麥りり其石數相等し今所有の金若干を以て之を
買んとせし大麥を買ふ廿五圓割に小麥を買ふ十五圓
不足いと云所有の金及同等の石數を問

答

(19)

園中に若干株の茶を栽りり一步毎に三株を栽りし
し廿株不足いと又三步毎に八株を栽りしとせし八十株を
余いと云園内幾許歩數なりや

答

(20)

若干の金を以て一入一日の賃廿二錢の雇夫を傭ふ小七

十五錢余は又一日一人の賃錢廿五錢の雇夫を前と同
日數備くんとせよと云ふと三十七錢五厘不足いと云金高及ひ
日數を問

答

若干個入の折詰菓子買んとて一個五厘宛の菓子を詰
入ると囊中の金五錢を余は又一個七厘ツくの菓子に詰
直せば囊中の金二錢五厘不足いと云幾個入の折詰菓子や

答

明依若干わり悉く俵米を造んとて四斗三升宛入ると
明依三俵残り又同一石數を以て四斗五升入るとせよ四石
三斗五升不足なりと云明依數及米高幾何

答

(23) 若干の書生に書籍を貸渡はに三人に二冊とせよ五冊余
り五人に三冊とせよ九冊余り人數并書籍數如何

答

(24) 牛馬同數わり若干の麥を與ふるに九馬に麥四石五斗の
割を以てせよ一石五斗余り又七牛に四石の割を以てせ
よ三石不足いと云各足數及麥石高如何

答

(25) 若干の紙數わり一帖四十枚とせよ二十枚不足又同一帖
數にして四十八枚宛一帖とせよ二百。四枚不足いと云
紙數并帖數如何

答

(26) 翻譯書若干字數わり書冊に綴らんとせよ一枚十八字

(27)

詰廿二行とせを百四十字余り又十九字詰廿四行とせを
千九百六十字不足いと云書籍の丁數及総字數幾許なりや
答
若干道程に電信杭を栽んとて杭間八間半宛とせを一
間余り同一杭數とて八間宛とせを杭數二本たゞは道程
及杭數如何

答

(28)

大桶に酒若干石數入りり三斗六升入の桶を以て汲出せ
を一斗五升余り又三斗八升入にして前と同一桶數を汲
出せを桶數二つと升數三斗五升不足いと云大桶の酒石
數及桶數如何

答

(29)

若干の金高を十六圓包にせし十二圓余り又同一包數に
て十六圓五十錢包にせし三圓余りと云金高及包數幾個
なりや

答

(30)

文字を彫刻せしに一丁二百五十字宛とせし二百字余り
又同一丁數りて二百五十三字宛とせしは千二百七十九字
不足いと云字數及丁數如何

答

(31)

田地若干の場所に桑苗を栽り小二間四方に一本宛とせ
を田地一步余り又二間半に二間の所に一本宛とせを田
地一及七畝五歩不足いと云田所及別并桑苗幾本なりや

答

脚夫若干道程を行くわり毎日午前六時に出立し毎時二里を歩はるゝ然るに毎日十時究歩まるとき若干日の後午後四時三十分某所に着はるゝ毎日十一時究歩はるゝとき同日午後零時三十分に着はるゝと云道程幾里あはるや

答

K110.4

小學珠算例題卷八終

珠算例題卷八

明治十二年七月九日版權免許
明治十二年七月廿日刻 成

定價拾錢

愛知縣平民

編輯人

水野淵二郎

名古屋區針屋町
百十四番屋敷

愛知縣平民

出版人

片野東四郎

名古屋區玉屋町
二十六番屋敷

小學
算術

珠算例題

水野淵三郎編輯

十

